



▲会場には笑いや拍手が絶えませんでした



▲大切にしていたお宝は本物！

香取市合併10周年記念 出張！なんでも鑑定団in香取

ジャカジャン！ 鑑定やいかに

12月3日、佐原文化会館にお宝が集合しました。出場者の応援や観覧などで満員となった、なんでも鑑定団in香取の収録では、出場した6人が掛け軸、つぼ、おもちゃなど自慢のお宝を出品。高額鑑定が続出する様子に、会場からは驚きの声や拍手が起きました。

高校生の息子が買った掛け軸を出品した田中満子さん（神栖市）は「これで息子に才能があるか試したいです」と、日本画が好きで学芸員を目指しているというお子さんの才能も鑑定依頼。8,000円で買ったという掛け軸は、見事20万円の値がつき、鑑定士の安河内眞美さんは「この道が合っていらっしゃるようですね」と、その目利きに太鼓判を押していました。



▲40年前のおもちゃが、なんと120万円に

まちかど通信

楽しくホットなまちの話題をご紹介します

山倉の鮭祭り

災い“サケ”る護符を手に



▲猿田彦を先頭に

山倉大神で行われる初卯祭は、鮭を奉納することから別名「鮭祭り」として親しまれています。12月4日、地元の人を中心に集まった参拝者は、鮭を献上する古式ゆかしい行列など祭儀を見守りました。

また、祭礼の当日にしか手に入らない護符を買い求めた人は、大事そうにしまい、鳥居をくぐると、祭りのにぎやかさと厳かな雰囲気感同居する木漏れ日の境内に足を踏み入れます。その際、自然と背筋を伸ばして拝殿に向かう姿が見受けられました。

よみがえ

甦る下座！ 100年前の音

会場に集う祭り好きのDNA



▲奇跡の音にじっと聞き入る

12月4日、与倉屋大土蔵で行われたこの催しは、レコード文化研究家の保利透氏が発見した佐原囃子の名門「毛成下座連」による大正5年の演奏が収録されたレコードの復元音源を披露するというマニアックな内容にもかかわらず、会場には400人以上の観客が詰め掛けました。いざ、音源が流されると皆、一音も漏らさないよう目を閉じ、耳に意識を集中。また、佐原の大祭の古映像も上映され、「ここは一生懸命曳かないと止まっちゃうんだよな」と懐かしそうに語り合う姿もあり、大祭の歴史が凝縮された時間はあっという間に過ぎていきました。

